

消化器内視鏡検査説明・同意書

ほそだ内科クリニック

院長 細田 正則

消化器内視鏡検査は、あなたの消化管の中を内視鏡にて直接観察し、細心の注意を払いながら診断を行う方法です。

- ◇ 検査前に、内視鏡による感染防止のための血液検査をすることがあります。
- ◇ 検査中に、病変が認められた場合（疑われた場合）、出血などがみられた場合には、必要に応じ次のようなことを行う可能性があります。
 - 粘膜組織の一部を鉗子でつまみ取り、組織（細胞）の検査を行います（生検）。
 - 病変部位に安全な色素を散布し、病変を明確にして診断の助けとします。
 - 胃の蠕動を抑える薬剤を内視鏡下に胃内に散布します。
 - 出血などがみられた場合には、可能な範囲で止血操作を行います。
- ◇ 内視鏡検査による危険性としては、次のようなことが報告されています。
 - ごくまれにスコープによる粘膜傷害(粘膜亀裂)や、裂傷を生じることがあります。
 - 生検による出血。
 - 前処置の薬剤によるアレルギーなど。
 - 検査前にあった疾患の悪化など。

ただし、以上の偶発症は起きないように細心の注意を払い、内視鏡検査を施行します。万一、緊急事態が生じた場合には、当院医師はその解消に責任を持ってあたります。必要に応じて救急対応の可能な病院へ紹介させていただく場合があります。

上部消化管内視鏡（胃カメラ）検査時の生検による偶発症発生頻度は出血 0.03%、穿孔 0.008%、裂傷 0.002%と報告されています。このうち受診者の 0.01%は緊急手術を要し、0.002%が死亡されています。

あらかじめご同意いただいた患者様に限り、検査で撮影した画像について個人情報適切に匿名化した上で、学会発表や論文掲載させていただく場合があります。是非ともご協力をお願いいたします。

学会発表・論文掲載について 同意する 同意しない

+++++

私は内視鏡検査の目的と方法、危険性、血液検査の必要性について上記の記載事項を読み、また主治医 細田正則よりの説明にて了承しました。

年 月 日

患者様氏名 _____

患者様が未成年の場合 親権者氏名 _____